

聞きます やります 考えます

佐々木 彰

ささき あきら

佐々木彰後援会・討議資料





one for all all for one
「一人はみんなのために、みんなは勝利のために」

**豊かに暮らせる
未来のために**

佐々木彰後援会

〒960-0801 伊達市霊山町掛田字西裏 52 番地
TEL:090-7326-9036
FAX:024-586-1046
メール:kakedaki@nifty.com

後援会に入会いただいたみなさまの個人情報、法令・規範に従い、後援会からの各種ご連絡以外には使用せず、第三者にも開示いたしません。

豊かに暮らせる未来のために

伊達地方の課題解決のため福島県・国との連携強化に取り組みます

福島県の復興創生を 確実に実行

- (1)イノベーションコースト構想の全県への波及
- (2)福島第一原子力発電所の確実な廃炉
- (3)ふくしまならではの産業の構築
- (4)森林再生の推進
- (5)観光の振興
- (6)内水面魚種の開発
- (7)健康のためのスポーツの普及



過疎中山間地域の 振興

- (1)農林業など地域資源を生かした産業の推進
- (2)地域資源を生かした再生可能エネルギー利活用の推進
- (3)医療介護の充実
 - ・ 医業承継の充実
 - ・ 周産期医療の充実
- (4)少子化に対応した子育て支援、教育の充実
- (5)農村 RMO の推進
- (6)事業承継の推進
- (7)空家・空き店舗活用

防災力の向上

- (1)生命財産を守る個別具体的なマイ避難の策定
- (2)国土強靱化によるインフラ整備の推進
- (3)災害時の情報伝達の強化
- (4)防災組織の充実強化
- (5)災害別の被害予測の強化
- (6)ため池・水路の状況把握
- (7)避難所の確保



伊達地方の声を県政に

ごあいさつ

平成 30 年より 5 年間、福島県議会議員として活動を行ってまいりました。この間の皆様のご支援ご協力に対しまして感謝申し上げます。

この 5 年間は令和元年東日本台風をはじめ、令和 3 年、4 年と 2 年続けて起きた福島県沖地震、桃のせん孔細菌病、凍霜害、ひょう被害などの自然災害、そして感染症対策と平時のありがたさを痛感する日々でした。このような災害に被災しても生活再建、生業の再開を円滑に進むことにしっかり取り組んでまいりました。

今後人口減少が進むことが予測されている中で私たちの地域が安全安心と利便性を持ち持続させていくことが必要です。

特に財源確保の面では自治体単独で行うことが難しく、国県との円滑な連携が必要不可欠です。伊達地方が持続可能な地域となるために福島県議会議員として様々な問題に立ち向かい活動を進めていく所存です。引き続き皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

佐々木 彰

佐々木 彰 (ささき あきら)

昭和 39 年 12 月 4 日伊達市霊山町生まれ
 福島県立保原高等学校卒業(現伊達高等学校)
 亜細亜大学経営学部経営学科卒
 (社)だて青年会議所理事長
 霊山町商工会青年部部长
 霊山ライオンズクラブ会長
 伊達市議会議員(4 期)
 伊達市議会議長
 福島県議会商労文教委員会副委員長
 自由民主党福島県支部連合会政務調査会副会長

現在の役職

福島県議会議員(2 期目)
 福島県議会農林水産委員会委員長
 自由民主党福島県支部連合会副幹事長
 福島県ラグビーフットボール協会会長



国への要望活動



災害復旧の迅速化(伊達橋)



県との連携強化



農林水産委員会での現地調査